

科目コード	2688131	<b>【授業内容】</b> 長崎市の鎮西大社諏訪神社（以下、諏方社と略称）において、同社に伝わる史資料をくずし字で読み解き、また同社の境内をフィールドワークすることにより、江戸時代の長崎の地に何故諏方社が勧請されたか、その謎に迫ります。具体的には、まず入門編として江戸時代長崎の名所案内記『長崎土産』に描かれた諏方社のあらましを読み、その後に諏方社蔵『鎮西大社名鑑』『鎮西大社記』『諏方社草創炎焼略記』等の縁起をもとに諏方社勧請の謎を解明します。さらに、和漢の文化交流が盛んに行われていた諏方社の模様を考察し、その立役者として活躍した大宮司青木永章の伝記を明らかにします。 <b>【到達目標】</b> この講義では、様々な資料を読み解いて、いまだ知られていない諏方社の歴史文化の一面に触れられるようになることを大目標として掲げる。そして、大目標に到達するために以下の小目標を設定する。 ①変体仮名の読解ができるようになる ②古典籍資料（和本）の取り扱いができるようになる ③読解した資料に基づき、諏方社の歴史文化の特質を主体的に検証することができるようになる <b>【授業テーマ】</b> 第1回 磯野信春『長崎土産』に描かれた諏方社をくずし字で読む 第2回 江戸時代の諏方社における異文化交流 第3回 くずし字で諏方社の縁起を読む 第4回 神功皇后伝説と諏方社 第5回 くずし字で読む諏方社大宮司青木永章の伝記 第6回 諏方社大宮司青木永章のこゝろ—江戸時代後期長崎文苑の先導者— 第7回 諏方社の境内を実地踏査する—フィールドワーカー— 第8回 講義総括—長崎と諏方信仰— <b>【学生へのメッセージ】</b> この講義では、江戸時代の諏方社の魅力をくずし字で読み解きます。諏方社の魅力を存分に味わってみませんか。くずし字を読んだ経験のない方も大歓迎です！読解のための手ほどきを一から丁寧に行います。また、座学のみではなく、諏方社の境内をフィールドワークすることにより諏方社の歴史と文化を体感します。 江戸時代の史資料、また境内の文化財に触れて、その隠された魅力とともに掘り起こしてみましよう。 <b>【受講前の準備学習等】</b> シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。なお、1日目の講義日終了後は、授業中に学習したくずし字を復習して、字母とくずし方を覚え、2日目の講義に御出席ください。 <b>【成績評価の方法】</b> 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 <b>【受講者が当日用意するもの】</b> くずし字の読解にアプリを利用しても構いません。その場合、スマートフォン・タブレット等の端末をお持ちください。AIくずし字認識アプリ「みを」をインストールして、くずし字を読解できます。なお、パケット通信量に制限等がある方は、当日諏方社においてWi-Fiが使用できませんので、御注意ください。 <b>【教科書】</b> 授業当日にプリントを配付します。 <b>【参考書】</b> ・今と昔の長崎に遊ぶ（増崎英明／九州大学出版会／¥2,640／ISBN=9784798503103） <b>【その他（特記事項）】</b> 本授業は諏訪神社で実施します。諏訪神社は入口から拝殿まで階段が多いため、昇降に不安のある方は事前にご確認ください。詳細は 諏訪神社公式サイト（ <a href="https://www.osuwasan.jp/">https://www.osuwasan.jp/</a> ）をご参照ください。なお、車での乗り入れは可能です。 「学生教育研究災害傷害保険（100円）および「学生教育研究賠償責任保険（340円）」の両方に加入している者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。学生教育研究災害傷害保険の加入については、面接授業開設科目一覧P.5参照
学習センター(コード)	42A	
クラスコード	K	
科目名	くずし字で読む 諏方社の歴史	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	吉良 史明 長崎大学 人文社会科学域 (教育学系)准教授	
日程実施時間	2026年4月25日(土) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~17:10 2026年4月26日(日) 第1時限 10:00~11:30 第2時限 11:40~13:10 第3時限 14:00~15:30 第4時限 15:40~16:25 試験・レポート等 16:25~17:10	
実施会場	鎮西大社諏訪神社 (長崎県長崎市上西山町18番15号)	